

臥竜山～掛頭山縦走 2025.5.26

参加者：横山、大藤（博）2名

聖湖入口の登山道からスタート 9:30。駐車スペースが有るので、便利は良いが登山者が少ないので入口付近は藪になっている。



登山口付近の藤の花



登山口

歩き始めてすぐに、登山道で横山氏がキンランを見つける。



キンラン



ギンリョウソウ

雨上がりの斜面に、ギンリョウソウが広く分布している。このルートは久しく歩いていなかったので、登山道の状態に不安があったが、予想に反して歩き易かった。森が安定している証拠だ。臥竜山は稜線に巨木が有ったが、現在では次世代の森が育っている。

林道に飛び出すまでに藪が深くなつたが、コケイランが数箇所に咲いていた。



コケイラン

林道を少し進むと、野鳥観察の夫婦がカメラを構えていた。アカショウビンが目的とのこと。林道を進み再び登山道に入るとオトコヨウヅメの白花が多く咲いている。



オオカメノキ（ムシカリ）



ガマズミ



サルメンエビネ



ユキザサ



山頂近くは2次林が発達して、藪が登山道を
を遮っていた。近い将来通過が困難になるだろう。聖湖からの縦走路は積雪期登山専用になるかも？

臥竜山 11:50 山頂にて昼食 12:20⇒猿木峠までの道は広く歩き良い



エンレイソウの花の後



猿木峠 13:25 この先は掛頭山へ



林道から登山道に入ると

笹藪が深い。踏み跡も不明瞭で通過は困難だ。殆ど林道が利用されている。



掛頭山の山頂一帯はレンゲツツジの群生があったが、現在は殆ど消滅している。



リンゴ系の花だが？



スキー場リフトの山頂施設



芸北国際スキー場はまだ健在らしい。老朽化が顕著だ。



掛頭山三角点に行く道は、踏み跡、テーピングは有るが不明瞭で難しい。14:34
諦めて、二河キャンプ場への峠に下山した。

霧ヶ谷湿原の木道を歩いて、八幡原公園を突っ切り、千丁原の牧野富太郎碑の傍を通過。草原にワラビが沢山あるのを見つけて、採集に夢中になる。横山氏は両手いっぱい収穫。



カンボク

牧野富太郎碑



千丁原からの臥竜山登山口

セイヨウジュウニヒトエ（園芸種）



オダマキ（栽培種？）

長い車道歩きを終えて 17:00 駐車場所に帰った。



カキツバタ

安佐岳友クラブ 大藤